

＜子育てひろば『ここすき！』が始まって、  
3か月目に入りました。＞



子どもたちは、ひろばの場所や職員にも慣れ、玄関入ると笑顔で手を振ったり、とまどうことなく、進んでホールに入ってくるようになりました。ホールに入ると、ノートに出席シールを貼り、自分の名札を選びます。自分のノートを大事そうに抱えながら来て、シールも自分で上手にはがして貼れる子が増えてきました。

『ここすき！』に来れば、このおもちゃで遊べると楽しみにしてくる子も多いです。プラ板の型落とし（缶の中に落とすと良い音がします）や、電車、くるま、ままごとが人気です。朝の集まりでは、名前を呼び、誰が来ているか、お休みかを確認します。最初に、簡単な体操をして、リラックス。動物体操など、親子で楽しみながらやっています。

その後は、日によって違いますが、身体を動かしたり、手先を使った簡単な製作などの活動の時間。「きょうは、こんなことをするよ。」と話す、子どもたちはよく聞いています。

子どもたちが、自分で考え自主的に行動できるよう、お母さん方には見守ってもらっています。

それが終わると、自由に遊ぶのですが、その間にお母さん方に集まってもらい、話をします。その日の活動のねらいや、子どもへの関わり方で大事にしたいことなどを伝えます。お母さんの中から、「こんなことを聞きたい」「みんなはどうしている？」ということを出してもらい、話し合うこともあります。お母さん同士がつながっていくと、子どもたちも自然と仲良くなっていくので、お母さんたちで自由に話し合う時間も設けています。

その間、子どもたちは、電車やくるまを走らせたり、ままごとでお料理をしたり、ボールプールで遊んだり、楽しく遊んでいます。他の子が使っているおもちゃが欲しい時には、「かして」「いいよ」と、少しずつやりとりもできるようになってきています。

「絵本を読むから、おもちゃを片づけて集まろうね。」と声をかけると、せっせと片づけ、ボールプールを「わっしょい、わっしょい」とみんなで運びます。

みんなで集まり、手遊びを楽しんだり、また、『いやだいやだ』などの絵本を、じっくり楽しんで見られるようになりました。一人ずつ名札をはずして返し、ノートを受け取ると、みんなで「さようなら」。でも、その後も滑り台を滑ったりし、なかなか帰りがたい様子です。

お母さん方は、週2回の『ここすき！』に頑張って通い、その中で学んだり、気づいたことを、家庭に帰ってから実践してくれています。その実践が、3ヶ月足らずの間に、（子どもが）自分でできることは自分でやったり、遊びたい場所やおもちゃを自分で選んだりすることにつながっていると考えています。同じおもちゃを使いたくて取り合いになったり、場所での押し合いがありますが、その経験こそがここすき！の大切なところです。これからもお母さん方と一緒に子ども達の成長を見守っていきたいと思います。

